

## スイッチング・レギュレータ向け SOT-23 スペクトル拡散クロック発振器

2006 年 4 月 10 日、リニアテクノロジーは、スイッチング・レギュレータ向けに最適化された、小型のスペクトル拡散機能付きシリコン発振器 LTC6908 の販売を開始しました。

LTC6908 は 1 本の抵抗を使用して 50kHz～10MHz のいずれの周波数にも設定可能です。LTC6908 には 2 つの構成があり、それぞれデュアル出力を備えています。LTC6908-1 は位相を 180° ずらした出力、LTC6908-2 は位相を 90° ずらした出力を供給します。

擬似ランダム・スペクトル拡散を可能にすることにより、EMI を低減するシンプルで効率的な方法を提供します。スイッチャ帯域幅が制限されている場合、LTC6908 の変調レートは 3 つの設定値のいずれかに調整することができます。リニアテクノロジーの設計部門のリーダー Doug LaPorte は、「スイッチャのスペクトル拡散を実現するのは、ごく簡単になりました。ユーザは 1 本の抵抗で周波数を設定し、変調レートを選択すれば済みます」と述べています。

-40°C～125°Cの温度範囲で完全に規定された LTC6908 は、リニアテクノロジーのシリコン発振器ファミリと同様に、極限条件下において堅牢で信頼できる動作を保証し、高速起動、低消費電力などの優れた機能を搭載しています。これらのデバイスは小型 6 ピン ThinSOT™ および 2mm×3mm DFN パッケージで供給されます。LTC6908 は量産中で、1000 個時の参考単価は 203 円(税込み)からです。

### LTC6908 の特長

- LTC6908-1: 相補出力 (0° / 180° )
- LTC6908-2: 直交出力 (0° / 90° )
- 周波数範囲: 50kHz～10MHz
- 1 本の抵抗で周波数を設定
- オプションの ±10% 周波数拡散
- 周波数誤差: 1.5% (最大)
- 温度安定度: ±40ppm/°C
- 動作温度範囲: -40°C～125°C
- 高速起動: < 1.5ms
- 安定するまで出力をミュート
- 2.7V～5.5V 動作
- 高さの低い ThinSOT および DFN (2mm×3mm) パッケージ

以上